

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成24年5月10日

【四半期会計期間】 第14期第2四半期(自平成24年1月1日至平成24年3月31日)

【会社名】 株式会社インタートレード

【英訳名】 INTERTRADE Co.,Ltd.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 尾崎 孝博

【本店の所在の場所】 東京都中央区新川一丁目17番21号

【電話番号】 03(3537)7450

【事務連絡者氏名】 業務執行役員 丸山 與一

【最寄りの連絡場所】 東京都中央区新川一丁目17番21号

【電話番号】 03(3537)7450

【事務連絡者氏名】 業務執行役員 丸山 與一

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第13期 第2四半期 連結累計期間	第14期 第2四半期 連結累計期間	第13期
売上高 (千円)	1,847,167	1,459,278	3,335,200
経常利益又は経常損失() (千円)	151,554	129,444	66,402
四半期(当期)純利益又は四半期 純損失() (千円)	233,360	8,255	172,523
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	235,687	3,662	171,687
純資産額 (千円)	2,385,714	2,338,326	2,341,989
総資産額 (千円)	4,308,321	4,146,266	3,578,785
1株当たり四半期(当期)純利益 金額又は四半期純損失金額() (円)	3,352.89	114.91	2,472.38
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)	3,301.51		2,437.36
自己資本比率 (%)	55.3	56.4	65.4
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	395,902	98,524	733,267
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	95,286	102,795	125,167
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	383,416	173,337	1,043,148
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (千円)	2,230,521	1,753,951	2,128,608

回次	第13期 第2四半期 連結会計期間	第14期 第2四半期 連結会計期間
1株当たり四半期純利益金額 又は1株当たり四半期純損失金 額() (円)	3,047.67	133.52

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 第14期第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。
4. 第13期第2四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。

2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）は、自己資金運用事業に進出しました。株式をはじめとする金融商品取引を、業務フロー面及びシステム面から支えてきた当社が、売買の判断という、より上流に近い工程に進出することによって、さらに付加価値が高いソリューション能力を獲得することを目的とするものです。これに伴い、子会社が1社増加しました。

また、当第2四半期連結累計期間において、報告セグメントに含まれない「その他」の区分を設けております。「その他」の区分は、主に新規事業開発に係るものであります。

この結果、平成24年3月31日現在では、当社グループは、当社、子会社2社及び関連会社1社により構成されることとなり、証券ソリューション、投資顧問、自己資金運用及びその他の4事業を営むこととなりました。なお、当該4事業はセグメント情報における区分と同一であります。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の重大な変動はありません。また、前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」について重要な変化はありません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等は行われておりません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 経営成績の分析

当社グループは、証券ディーリングシステム、外国為替証拠金取引システム等の開発及び保守を行う証券ソリューション事業を主力事業としており、併せて投資顧問事業、自己資金運用事業等を行っております。

当第2四半期連結累計期間（以下、当第2四半期）においては、当社グループ主力顧客の証券業の事業環境は依然として厳しく、収支管理の強化と顧客層多様化の双方に目下取り組んでおります。

当第2四半期の当社グループの連結経営成績は以下の表のとおりです。

	平成23年9月期 (前第2四半期) 実績		平成24年9月期 (当第2四半期) 期初計画		平成24年9月期 (当第2四半期) 実績			
	金額 (百万円)	百分比 (%)	金額 (百万円)	百分比 (%)	金額 (百万円)	百分比 (%)	前年 同期比 (%)	期初 計画比 (%)
売上高	1,847	100.0	1,680	100.0	1,459	100.0	79.0	86.9
営業利益又は 営業損失()	145	7.9	125		133			
四半期純利益又は 四半期純損失()	233	12.6	132		8			

期初計画は、平成23年9月期決算短信記載の業績予想です。

<売上面>

期初計画段階で、前年同期比減収を織り込んでいたものの、予想以上の減収幅となりました。

主力の証券ソリューション事業においては、期初から見込んでいた顧客減少のタイミングが早まったこと等を原因として、前年同期、期初計画数値を下回る売上高となりました。また、投資顧問事業、自己資金運用事業においては、それぞれ証券会社等顧客の投資意欲の減退、上場企業の不祥事等による予せぬ株価変動を主要因とし、期初計画数値を下回る売上高となりました。

<費用面>

人件費及び外注費等の削減を進めた結果、売上原価と販売費及び一般管理費の合計は前年同期比93.6%、期初計画比88.2%となりました。

結果として133百万円の営業損失となり、前年同期を278百万円、期初計画数値を8百万円下回りました。

また、解約違約金の発生により特別利益122百万円を計上したこと等により、四半期純損失は8百万円に留まりました。

当第2四半期の受注実績は以下の表のとおりです。

セグメントの名称	平成23年9月期 (前第2四半期)		平成24年9月期 (当第2四半期)		
	受注実績 (百万円)	前年同期比 (%)	受注実績 (百万円)	前年同期比 (%)	受注残高 (百万円)
証券ソリューション事業					
パッケージ売上	36	1,056.4	166	454.2	87
システムインテグレーション売上	225	138.2	135	60.0	108
ライセンスビジネス売上	106	395.0	70	66.4	369
カスタマーサポート売上	59	51.6	72	121.7	684
合計	427	138.5	444	104.0	1,249

(注) 1 当第2四半期末受注残高 = 前期末受注残高 + 当第2四半期受注実績 - 当第2四半期売上高
2 受注残高は、当連結会計年度中に売上計上を予定しているもののみを記載しております。

損益の先行指標となる受注高は444百万円であり、前年同期比104.0%となりました。

パッケージ売上の受注実績が前年同期比454.2%と大きく増加しました。これは、新規案件（関西商品取引所、大手米系ヘッジファンド等）の受注が寄与したことによるものです。システムインテグレーション売上の受注実績については前年同期比60.0%となりましたが、主力製品『TIGER TradingSystem』のASP化が進展したことによるハードウェア受注の減少等が要因です。

安定収入であるランニング売上（ライセンスビジネス売上及びカスタマーサポート売上）の受注実績では、ライセンスビジネス売上の受注実績が減少しています。これは主要顧客の解約があり、受注実績の減少要因となったためです。カスタマーサポート売上の受注実績は、新規案件獲得の効果等から、前年同期比121.7%となりました。

事業セグメント別の概況は次のとおりです。

なお、各事業の売上高には、セグメント間の内部取引を含んでおります。

(証券ソリューション事業)

証券ソリューション事業の業績は当社の業績であり、証券ディーリングシステム、外国為替証拠金取引システム等の開発及び保守が主力であります。

当第2四半期の経営成績は以下のとおりです。

売上高 1,458百万円(前年同期比79.2%)

セグメント利益 94百万円(前年同期はセグメント利益294百万円)

なお、証券ソリューション事業の売上内訳は、次のとおりであります。

	平成23年9月期 (前第2四半期)		平成24年9月期 (当第2四半期)		前年同期比 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	
パッケージ売上	99	5.4	182	12.5	183.7
システムインテグレーション売上	405	22.0	58	4.0	14.5
ライセンスビジネス売上	474	25.8	442	30.3	93.4
カスタマーサポート売上	862	46.8	774	53.2	89.8
合計	1,841	100.0	1,458	100.0	79.2

- ・ システムインテグレーション売上が前年同期比14.5%と大きく減少した影響で、売上高合計も前年同期比79.2%の実績となりました。これは、前年同期の大阪証券取引所の新デリバティブ売買システム『J-GATE』の新規稼働のような大規模なイベントが、当第2四半期には無かったことに起因します。
- ・ パッケージ売上は前年同期比183.7%の実績となりました。当第2四半期においては3件の新規顧客の獲得がありました。
- ・ 安定収入であるランニング売上(ライセンスビジネス売上及びカスタマーサポート売上)は、証券会社のディーリング業務撤退の影響から減少し、ライセンスビジネス売上が前年同期比93.4%、カスタマーサポート売上が前年同期比89.8%となりました。
- ・ 東京証券取引所の新しい先物・オプション取引システム『Tdex+』が2011年11月より稼働しました。当社は、証券会社各社に提供している『TIGER Trading System』等のシステムを『Tdex+』に対応させました。
- ・ 費用面においては業務効率化による工数削減を行い、その結果外注費及び人件費の削減を実現しています。結果として、売上高減少幅に比べ、セグメント利益の減少幅は小幅に留まりました。

(投資顧問事業)

投資顧問事業の業績は、当社連結子会社であるインタートレード投資顧問株式会社の業績です。

当第2四半期の経営成績は以下のとおりです。

売上高 23百万円(前年同期比59.4%)

セグメント損失 25百万円(前年同期はセグメント損失2百万円)

証券各社のコスト削減を主要因として発生した前連結会計年度中の付加価値情報提供サービス解約の影響で、売上高及びセグメント損失が大きく悪化しました。

付加価値情報提供サービスから投資助言サービスへと売上の比重を移すための受注活動を行っています。

(自己資金運用事業)

自己資金運用事業の業績は、当社連結子会社である株式会社トレーデクスの業績です。
当第2四半期の経営成績は以下のとおりです。

売上高

セグメント損失 23百万円

第1四半期から開始した事業であり、主に当社グループが開発した取引手法に基づく日本の上場株式の売買（信用取引含む）を行っています。当第2四半期については運用損となったため、売上高が計上されておられません。当第2四半期においては、上場企業のコンプライアンス関連の不祥事及び投資顧問会社の不祥事が大きく取り上げられ、当社グループが開発した売買ロジックが想定しない株価の変動がありました。市場が想定外の動きをすることが複数回あり、予想していた運用益を上げることが出来ませんでした。

(2) 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末の総資産額（負債及び純資産の合計額）は、前連結会計年度末に比べ567百万円増加し、4,146百万円となりました。平成23年10月に連結子会社トレーデクスにおいて信用取引を含む自己資金運用事業を開始したため、資産の部において営業投資有価証券及び担保差入金、負債の部において借入有価証券及び信用取引未払金が増加したことが主な要因です。

自己資本比率は56.4%、当座比率（当座資産÷流動負債、短期的安全性の指標）は140.7%であり、自己資金運用事業開始の影響で低下したものの、引き続き安定的な状態を確保しています。

(資産)

総資産合計4,146百万円のうち、現金及び預金と有価証券(MMF)が1,953百万円（構成比47.1%）、担保差入金471百万円（構成比11.4%）、投資有価証券304百万円（構成比7.3%）営業投資有価証券249百万円（構成比6.0%）、担保差入有価証券229百万円（構成比5.5%）となっています。自己資金運用事業に関する資産である担保差入金、営業投資有価証券、担保差入有価証券が総資産の22.9%を占めています。

(負債)

負債合計1,807百万円のうち、短期借入金、1年内返済予定の長期借入金及び長期借入金の合計が865百万円（負債及び純資産に対する構成比20.9%）を占めております。また、自己資金運用事業に関連する借入有価証券が489百万円（構成比11.8%）、信用取引未払金が228百万円（構成比5.5%）となりました。

(純資産)

純資産合計は2,338百万円であり、主な内訳は資本金1,478百万円、資本剰余金794百万円、利益剰余金156百万円、自己株式 95百万円となっています。

(3) キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ374百万円減少し、1,753百万円となりました。

各活動によるキャッシュ・フローの状況は、次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、98百万円の支出（前年同四半期は395百万円の収入）となりました。

税金等調整前四半期純損失は7百万円、現金支出を伴わない四半期連結損益計算書上の費用としてのれん償却額234百万円等がありました。

また、連結貸借対照表項目の主な増減は以下のとおりでした。

・トレーディング商品(資産)の増減額(は増加) 249百万円

・たな卸資産の増減額（ は増加） 41百万円

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、102百万円の支出（前年同四半期は95百万円の支出）となりました。

有価証券の償還による収入が110百万円あった一方で、定期預金の預入による支出200百万円がありました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、173百万円の支出（前年同四半期は383百万円の支出）となりました。

短期借入金の純増加額が200百万円あった一方で、長期借入金の返済による支出が371百万円ありました。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(5) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間の研究開発費の総額は、24百万円です。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	267,120
計	267,120

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成24年3月31日)	提出日現在 発行数(株) (平成24年5月10日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	74,439	74,439	東京証券取引所 (マザーズ)	単元株制度は採用していません。
計	74,439	74,439		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成24年1月1日～ 平成24年3月31日		74,439		1,478,232		794,065

(6) 【大株主の状況】

平成24年3月31日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
西本 一也	東京都新宿区	13,464	18.09
尾崎 孝博	神奈川県横浜市	8,493	11.41
ゴールドマン・サックス証券株式会社	東京都港区六本木6丁目10番1号	7,112	9.55
カブドットコム証券株式会社	東京都千代田区大手町1丁目3番2号	6,437	8.65
伊藤忠テクノソリューションズ株式会社	東京都千代田区霞が関3丁目2-5	2,940	3.95
株式会社インタートレード	東京都中央区新川一丁目17番21号	2,592	3.48
渡辺 清吉	茨城県鹿嶋市	1,897	2.55
赤木屋証券株式会社	東京都中央区日本橋2丁目7-1	1,700	2.29
インタートレード従業員持株会	東京都中央区新川一丁目17番21号	1,661	2.23
西本 かな	東京都新宿区	1,185	1.59
計		47,481	63.79

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成24年3月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 2,592		
完全議決権株式(その他)	普通株式 71,847	71,847	
単元未満株式			
発行済株式総数	74,439		
総株主の議決権		71,847	

【自己株式等】

平成24年3月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社インタート ード	東京都中央区新川 一丁目17番21号	2,592		2,592	3.48
計		2,592		2,592	3.48

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動は、次のとおりであります。

役職の異動

新役名及び職名	旧役名及び職名	氏名	異動年月日
取締役副社長 (第二事業本部長)	取締役 (第二事業本部長)	西本 一也	平成24年3月7日

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(平成24年1月1日から平成24年3月31日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成23年10月1日から平成24年3月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、監査法人アヴァンティアにより四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,377,993	1,203,102
売掛金	282,473	253,682
有価証券	860,614	750,848
営業投資有価証券	-	249,680
仕掛品	8,908	50,377
原材料及び貯蔵品	315	241
担保差入金	-	471,921
担保差入有価証券	-	229,625
繰延税金資産	75,700	75,700
その他	67,119	211,084
流動資産合計	2,673,125	3,496,264
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	54,970	56,480
減価償却累計額	12,349	16,766
建物及び構築物（純額）	42,620	39,714
工具、器具及び備品	424,952	436,937
減価償却累計額	346,584	367,254
工具、器具及び備品（純額）	78,367	69,683
リース資産	17,874	17,874
減価償却累計額	3,872	5,660
リース資産（純額）	14,001	12,213
有形固定資産合計	134,989	121,611
無形固定資産		
ソフトウェア	67,285	54,825
のれん	235,582	696
その他	364	364
無形固定資産合計	303,231	55,886
投資その他の資産		
投資有価証券	291,663	304,530
繰延税金資産	41,300	41,300
その他	150,216	142,415
貸倒引当金	15,742	15,742
投資その他の資産合計	467,437	472,503
固定資産合計	905,659	650,001
資産合計	3,578,785	4,146,266

	前連結会計年度 (平成23年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	97,408	117,213
短期借入金	200,000	400,000
1年内返済予定の長期借入金	550,780	235,980
借入有価証券	-	489,601
信用取引未払金	-	228,148
未払法人税等	11,386	10,375
リース債務	3,636	3,707
その他	76,442	83,843
流動負債合計	939,654	1,568,869
固定負債		
長期借入金	285,700	229,500
リース債務	11,441	9,570
固定負債合計	297,141	239,070
負債合計	1,236,795	1,807,939
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,478,232	1,478,232
資本剰余金	794,065	794,065
利益剰余金	165,159	156,904
自己株式	95,031	95,031
株主資本合計	2,342,425	2,334,170
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	436	4,156
その他の包括利益累計額合計	436	4,156
純資産合計	2,341,989	2,338,326
負債純資産合計	3,578,785	4,146,266

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成23年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年3月31日)
売上高	1,847,167	1,459,278
売上原価	1,045,621	941,778
売上総利益	801,545	517,499
販売費及び一般管理費合計	656,283	650,533
営業利益又は営業損失()	145,262	133,033
営業外収益		
受取利息	4,928	778
受取配当金	200	200
受取手数料	1,740	1,421
持分法による投資利益	15,608	8,273
その他	632	1,007
営業外収益合計	23,110	11,681
営業外費用		
支払利息	16,812	8,091
その他	5	-
営業外費用合計	16,818	8,091
経常利益又は経常損失()	151,554	129,444
特別利益		
貸倒引当金戻入額	401	-
解約違約金	82,429	122,990
特別利益合計	82,831	122,990
特別損失		
固定資産除売却損	28	-
事務所移転費用	-	572
特別損失合計	28	572
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失()	234,357	7,026
法人税、住民税及び事業税	1,084	1,229
法人税等合計	1,084	1,229
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失()	233,273	8,255
少数株主損失()	87	-
四半期純利益又は四半期純損失()	233,360	8,255

【四半期連結包括利益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成23年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失()	233,273	8,255
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,200	4,400
持分法適用会社に対する持分相当額	1,214	193
その他の包括利益合計	2,414	4,593
四半期包括利益	235,687	3,662
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	235,774	3,662
少数株主に係る四半期包括利益	87	-

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成23年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失()	234,357	7,026
減価償却費	38,707	26,874
ソフトウェア償却費	15,252	12,637
のれん償却額	234,786	234,886
その他の償却額	8,228	8,172
受注損失引当金の増減額(は減少)	88,968	-
貸倒引当金の増減額(は減少)	401	-
持分法による投資損益(は益)	15,608	8,273
固定資産除売却損益(は益)	28	-
移転費用	-	572
受取利息及び受取配当金	5,128	978
支払利息	16,812	8,091
雑収入	-	592
売上債権の増減額(は増加)	30,165	28,791
たな卸資産の増減額(は増加)	66,133	41,395
トレーディング商品(資産)の増減額(は増加)	-	249,680
その他の流動資産の増減額(は増加)	322	144,827
信用取引資産及び信用取引負債の増減額	-	16,203
仕入債務の増減額(は減少)	84,504	19,804
未払金の増減額(は減少)	14,557	8,079
未払法人税等(外形標準課税)の増減額(は減少)	1,515	1,516
未払消費税等の増減額(は減少)	34,213	18,954
その他の流動負債の増減額(は減少)	11,211	17,473
小計	459,497	91,659
利息及び配当金の受取額	4,403	1,711
利息の支払額	16,012	7,280
移転費用の支払額	51,167	572
法人税等の還付額	743	983
法人税等の支払額	1,562	1,707
営業活動によるキャッシュ・フロー	395,902	98,524
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	85,189	12,245
無形固定資産の取得による支出	14,271	178
有価証券の取得による支出	110,000	-
有価証券の償還による収入	-	110,000
敷金及び保証金の回収による収入	114,174	1,247
敷金及び保証金の差入による支出	-	1,618
定期預金の預入による支出	-	200,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	95,286	102,795

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成23年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（は減少）	-	200,000
リース債務の返済による支出	2,017	1,800
長期借入金の返済による支出	382,240	371,000
新株予約権の行使による株式の発行による収入	1,500	-
配当金の支払額	658	536
財務活動によるキャッシュ・フロー	383,416	173,337
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	82,800	374,657
現金及び現金同等物の期首残高	2,313,321	2,128,608
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,230,521	1,753,951

【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】

当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年10月1日 至 平成24年3月31日)
連結の範囲の重要な変更 第1四半期連結会計期間より、新たに設立した株式会社トレーデクスを連結の範囲に含めております。

【追加情報】

当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年10月1日 至 平成24年3月31日)
第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

前連結会計年度 (平成23年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年3月31日)
当社においては、運転資金の効率的な調達を行うため取引銀行2行と当座貸越契約を締結しております。これら契約に基づく当連結会計年度末の借入実行残高は次のとおりであります。	当社及び連結子会社においては、運転資金の効率的な調達を行うため取引銀行2行と当座貸越契約を締結しております。これら契約に基づく当第2四半期連結会計期間末の借入実行残高は次のとおりであります。
当座貸越極度額の総額 750,000千円 借入実行残高 200,000千円 差引額 550,000千円	当座貸越極度額の総額 750,000千円 借入実行残高 400,000千円 差引額 350,000千円

(四半期連結損益計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年10月1日 至 平成23年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年10月1日 至 平成24年3月31日)
販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。	販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。
役員報酬 46,670千円 給与手当 179,731千円 減価償却費 7,681千円 地代家賃 31,290千円 研究開発費 20,261千円 のれん償却額 234,786千円	役員報酬 45,360千円 給与手当 170,343千円 減価償却費 6,533千円 地代家賃 31,349千円 研究開発費 24,363千円 のれん償却額 234,886千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年10月1日 至 平成23年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年10月1日 至 平成24年3月31日)
現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成23年3月31日現在)	現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成24年3月31日現在)
現金及び預金勘定 1,480,163千円 取得日から3ヶ月以内に償還期限の到来する短期投資 750,357千円 現金及び現金同等物 2,230,521千円	現金及び預金勘定 1,203,102千円 預入期間が3ヶ月を超える定期預金 200,000千円 取得日から3ヶ月以内に償還期限の到来する短期投資 750,848千円 現金及び現金同等物 1,753,951千円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成22年10月1日至平成23年3月31日)

1 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

該当事項はありません。

(2) 基準日が当連結会計年度の開始の日から当四半期連結会計期間末までに属する配当のうち、配当の効力発生日が当四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

2 株主資本の金額の著しい変動

当社は、平成22年11月24日開催の取締役会決議に基づき、資本準備金785,044千円を減少し、その他資本剰余金に振り替え、振替後のその他資本剰余金の全額を取り崩して欠損填補を行っております。この結果、当第2四半期連結会計期間末において資本剰余金が794,065千円、利益剰余金が225,996千円となっております。

当第2四半期連結累計期間(自平成23年10月1日至平成24年3月31日)

1 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

該当事項はありません。

(2) 基準日が当連結会計年度の開始の日から当四半期連結会計期間末までに属する配当のうち、配当の効力発生日が当四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

2 株主資本の金額の著しい変動

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動がありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成22年10月1日至平成23年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	証券ソ リューション事業	投資顧問事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,839,259	7,907	1,847,167		1,847,167
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,400	31,572	33,972	33,972	
計	1,841,659	39,480	1,881,140	33,972	1,847,167
セグメント利益又は損失()	294,809	2,801	292,007	146,745	145,262

(注)1 セグメント利益又は損失の調整額 146,745千円は、主として各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に当社の管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成23年10月1日至平成24年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)2	合計	調整額 (注)3	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)4
	証券ソ リューション事業	投資顧問事業	自己資金運 用事業 (注)1	計				
売上高								
外部顧客への売上高	1,456,388	2,890		1,459,278		1,459,278		1,459,278
セグメント間の 内部売上高又は振替高	2,400	20,563		22,963		22,963	22,963	
計	1,458,788	23,453		1,482,241		1,482,241	22,963	1,459,278
セグメント利益又は損失 ()	94,094	25,189	23,990	44,914	26,417	18,497	151,531	133,033

(注)1 「自己資金運用事業」の区分は、第1四半期連結会計期間より連結子会社となった株式会社トレードスにおいて行っている事業であり、第1四半期連結会計期間より当該セグメントを新設しております。

2 「その他」の区分は、主に新規事業開発に係るものであります。

3 セグメント利益又は損失の調整額 151,531千円は、主として各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に当社の管理部門に係る費用であります。

4 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(金融商品関係)

当第2四半期連結会計期間末(平成24年3月31日)

企業集団の事業の運営において重要なものとなっており、かつ、前連結会計年度の末日に比べて著しい変動が認められるものは、次のとおりです。

(単位：千円)

科目	四半期連結 貸借対照表計上額	時価	差額
(1) 営業投資有価証券	249,680	249,680	
(2) 担保差入金	471,921	471,921	
(3) 担保差入有価証券	229,625	229,625	
(4) 借入有価証券	489,601	489,601	
(5) 信用取引未払金	228,148	228,148	

(注) 金融商品の時価の算定方法

(1) 営業投資有価証券

これらの上場株式は取引所の価格によっております。

(2) 担保差入金、(5) 信用取引未払金

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(3) 担保差入有価証券、(4) 借入有価証券

これらは資金運用において保有する建玉の残高であり、取引所の価格によっております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額又は四半期純損失金額及び算定上の基礎並びに潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成23年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年3月31日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額()	3,352円89銭	114円91銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額又は四半期純損失金額() (千円)	233,360	8,255
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額又は四半期純損失金額() (千円)	233,360	8,255
普通株式の期中平均株式数(株)	69,600	71,847
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	3,301円51銭	
(算定上の基礎)		
四半期純利益調整額(千円)		
普通株式増加数(株)	1,083	
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要		

(注) 当第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失金額であるため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年 5月10日

株式会社インタートレード
取締役会 御中

監査法人アヴァンティア

代表社員
業務執行社員 公認会計士 小笠原 直 印

業務執行社員 公認会計士 戸城 秀 樹 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社インタートレードの平成23年10月1日から平成24年9月30日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(平成24年1月1日から平成24年3月31日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成23年10月1日から平成24年3月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社インタートレード及び連結子会社の平成24年3月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。
以 上

- (注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が四半期連結財務諸表に添付する形で別途保管しております。
- 2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれておりません。